

寅さん歩 その 19

バーチャルウォークで

聖火を新国立競技場へ-6



平野 武宏

FWAホームページの「YR・四季の道」に八柳修之さんの「バーチャルウォーク（国内版）沖縄から新国立競技場まで東京オリンピック 2020 の聖火コース（仮想）1685 km を 2020 年 7 月までに歩いてみませんか」が掲載されました。

かつては平野寅次郎の名で映画の寅さんのように全国のウォーキング大会を歩き、世界最大のウォーキング大会 オランダ国際フォーデーズマーチ（4 日間で 120 km）を完歩しましたが、2018 年 1 月に坐骨神経痛を発症し、足の痛みで自由に歩けなくなりました。治療やリハビリを重ね、現在は 8～10 km 程度の散歩まで可能に回復しましたが、歩けない時は例会にも参加出来ず、悶々としていました。こんな時の光明がこのバーチャルウォークの提案でした。リハビリの散歩の距離を累計しバーチャルコースのゴールに向かう、「ゴールするまでは健康でいなければ」との目標を持つ、前向きな気持ちにさせる取り組みです。

先の長いゴールまで歩けるかの不安もありますが、その時は**駕籠に乗って**（ウォーキングの隠語で交通機関を利用）聖火を新国立競技場へ届けようと気楽に考えました。歩く地域について学びながら思いを巡らすのも楽しいですよ。寅次郎は歩きながら、昔、ウォーキングで訪れて通過した県の思い出や、映画「男はつらいよ」で寅さんが通過した県でマドンナと、どんな恋をしていたのかをお話したいと思います。

2018 年 10 月 1 日沖縄県辺戸岬をスタートした聖火は沖縄県那覇市から鹿児島県、宮崎県に入り、日向市と延岡市の間で新年を迎え、大分県に入り、2019 年 2 月 19 日現在、スタートから 500km 地点に到着しました。次は大分県宇佐市から国道 10 号線の終点の北九州市門司区まで歩きます。

[大分県宇佐市～福岡県北九州市門司区] 501km～600km



写真上左は日本の八幡宮総本宮の宇佐神宮、右は九州と本州を結ぶ関門橋です。宇佐市は今も破られない大相撲69連勝の名横綱 双葉山のふるさとです。

宇佐神宮を訪問し、拝礼作法は横に並んだ一之宮、二之宮、三之宮の順に「二礼、四拍子、一礼」と学びました。

(通常の礼拝は二拍手です)



寅次郎の福岡県訪問は久留米2回と小倉1回の計3回です。

2003年4月「第6回久留米つつじマーチ」ではつつじ満開の



筑後路を楽しみました。前日の「せっかくウォーク」(せっかく来たのだからと前泊者向けの企画)にも参加しました。久留米からバスで大宰府近くまで移動し、1300年の昔、九州全体を治めた大宰府(写真左)の歴史を偲び、史跡をボランティアのガイドさんの熱心な説明を聞きながら歩きました。万葉の故郷と呼ばれ、俳人の種田山頭火も歩いた道で レンゲ畑・菜の花畑が印象に残りました。

残念ながら歌は詠めませんでした。

大会第1日目は百年公園の見事なつつじや道路にはみ出し鮮やかな名産の富有柿の若葉を見ながらのウォークでした。



第2日目は悠々と流れる筑後川を見ながら日本の水天宮の本宮といわれる水天宮にお参り

しました。久留米はとんこつラーメン発祥の地、ゴール後、会場近くのラーメン屋に40分並んで、元祖の味を堪能しました。

また、久留米はシューズも販売しているブリヂストンの創業の地、ウォーキングシューズ「ワールドマーチ」のムーンスター(旧月星化成)の本社所在地でウォーキングに対しては地域を挙げて熱を入れていると感じました。

2004年4月「第7回久留米つつじマーチ」のせっかくウォークでは北原白秋のふるさと柳川で川下りを楽しみ、うなぎのせいろ蒸しに舌



鼓、錦糸卵がのり、関東にない味は絶品でした。

この大会で日本マーチングリーグ
日本ダブル スーパーマスター

ウォーカー賞(当時は全15大会を2回完歩)の表彰を受けました。

2008年10月は「第2回北九州無法松ツーデーマーチ」で小倉を訪問しました。九州の玄関口北九州市の市政45周年記念事業の大会で、副題に「義理と人情のウォーキング」とありと寅次郎の興味をそそりました。前日は街の下見に出て、歴史とロマンの雰囲気を感じ、森鷗外が過ごした旧宅も見つけました。夕食は魚町銀天街で鰯のあら煮定食をいただきました。

大会第一日目は小倉城から小倉太鼓の乱れ打ちの中をゲストの水前寺清子さんの見送りを受け、スタート。高台から関門海峡を眺め、給水所ではバナナサービス。小倉はバナナの荷揚げ・たたき売り発祥地とのこと。旧中津街道に無法松の大きな碑ありました。ゴール後は地元の方のお薦めの「オム焼うどん」（上下にオムレツがある焼うどん）をいただきました。

第二日目は旧長崎街道、長崎街道や八幡神社や旧八幡製鉄ゆかりの高見神社を歩きました。ゴールには足湯サービスがあり、足を癒しました。今回の大会で九州・沖縄マーチングリーグ（当時は全9大会）を9年かけて完歩（各大会は1年に1回の開催）、表彰を受けました。



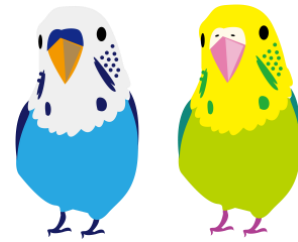
映画の寅さんは2度、福岡県を訪れています。

1981年12月公開の第28作「男はつらいよ 寅次郎紙風船」で久留米の宿が満室で家出娘愛子（岸本加世子）との相部屋を頼まれる。家出娘との対応は寅さんの人柄が出ています。祭りでテキヤの兄貴分の妻光江（音無美紀子）と出会い、兄貴分は病気と聞き、朝倉市秋月の家に見舞いに行くと兄貴分から「自分に万一の時は光枝を女房に」と頼まれます。光枝からあと1ヶ月の命と聞き、柴又に戻り、真人間になると言い出す寅さんです。その後、光枝が形見を持って上京、寅さんの本心を確認しますが、本心を言わぬ寅さんでした。光枝も納得して帰ります。でも寅さん、一時はその気になり、堅気の職業にと就職試験を受け、所持を持つことを真剣に考えましたが、不合格通知が届き、とんだ三枚目だと苦笑、失意の旅へ。雪駄を履き、ネクタイ姿で就職活動の寅さんが空しく、気の毒さが残ります。旅に出た寅さん、焼津に戻った愛子を訪ねています。「人との別れは」とは、を感じさせる作品です。

1986年12月公開の第37作「男はつらいよ 幸せの青い鳥」で筑豊に現れています。長州の下関での商売の後、テキヤ仲間のコンピューター占いで「南にすばらしい出会いが待っている」と出て、北九州筑豊へと向かいます。寅さん、旅で知り合い鼻唄にしていた旅芸人一座の座長の死を知り、娘 美保【芸名：大空小百合】（志穂美悦子）

を田川に訪ね、励ます寅次郎です。美穂は冗談で「幸せの青い鳥が欲しい」と言います。寅さん、かばんから、売り物の鳥の笛を渡し、「柴又に来たら、とらやに顔を出しな」と美保に言い、別れます。

上京し、柴又のとらやに電話をした美保、寅さん不在の返事で気落ち、熱を出し、倒れ、通りすがりの看板屋の健悟（長淵剛）に助けられます。



その後、柴又に戻った寅さんと再会。寅さんに紹介されたラーメン屋で働き出します。美保の幸せを祈って、今度は花婿を探すと張り切る寅さんです。美術家を目指す健悟、美術展に落選、美保ともけんかして落ち込みますが、二人の仲を察知した寅さん、恋のキューピット役に。二人の婚姻届の保証人欄に署名をして、妹のさくらに渡し、「自分は青い鳥を求めて」と旅へ出ます。寅さんの揺れる気持ちが時々出て笑わせます。この映画の共演がきっかけで長淵剛と志穂美悦子は結ばれています。寅さんは本当にキューピット役でした。

北九州市小倉区門司に到着したら、関門トンネルを歩いて、いよいよ本州に入ります。

途中経過は「寅さん歩」の中でお知らせします。

今回は 官公庁の食堂めぐり-9 新宿区役所 です。

平野 寅次郎 拝